

現代の国語

1. 講座名	現代の国語
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。(学びに向かう力、人間性等)
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を通読し(黙読・音読)、内容を把握する。 ・文章の種類・内容・構成・論理の展開などを把握しながら文章を読み、要点をつかむ。 ・文章中で用いられている漢字の読み書きができ、それらの漢字を使って文章を書く。 ・文章中で用いられている語句の意味を調べ、理解し、それらの語句を使って文章を書く。 ・指示語・接続語の意味や役割を理解し、それらを使って文章を書く。 ・分かりやすい説明文や意見文を書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	<p>「新編 現代の国語」(東京書籍)</p> <p>「新編 現代の国語 学習書」(NHK 出版)</p>

スクーリング計画

第1回	①	こそそめスープ レポート①
第2回	②	水の東西 レポート②
第3回	③	無彩の色 レポート③
第4回	④	鍋洗いの日々 レポート④
第5回	⑤	りんごのほっぺ① レポート⑤
第6回	⑥	りんごのほっぺ② レポート⑤
第7回	⑦	真の自立とは① レポート⑥
第8回	⑧	真の自立とは② レポート⑥

言語文化

1. 講座名	言語文化
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>【知識および技能】</p> <p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての的確に捉える。 ・作品や文章に表れているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・古文・漢文と現代文の違いについて確認する。 ・古文・漢文の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古文・漢文に特有の表現などについて理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <p>・レポート(30%)とテスト(70%)</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>・レポート(70%)とテスト(30%)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価</p>
9. 教材	<p>「新編 言語文化」(東京書籍)</p> <p>「新編 言語文化 学習書」(NHK 出版)</p>

スクーリング計画

第 1 回	◆現代文編:さくらさくらさくら(随筆) レポート①
第 2 回	◆現代文編:柳あをめる(短歌)／雪の深さを(俳句) レポート②
第 3 回	◆現代文編:羅生門(小説) レポート③
第 4 回	◆現代文編:羅生門(小説) レポート③
第 5 回	◆古文編:徒然草(随筆)／折々の歌(詩歌) レポート④
第 6 回	◆古文編:伊勢物語(物語)／奥の細道(紀行) レポート⑤
第 7 回	◆漢文編:訓読の基本 レポート⑥
第 8 回	◆漢文編:絶句と律詩(漢詩) レポート⑥ ※テスト対策

論理国語

1. 講座名	論理国語 a・b
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的, 批判的に考える力を伸ばすとともに, 創造的に考える力を養い, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の論理的な文章や現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読む。 ・翻訳の文章や古典における論理的な文章を読む。 ・文章だけではなく, 図やグラフなどの資料と文章を関連付けて考える。 ・情報の扱い方について学ぶ。 ・自分の考えを論述したり討論したりする。 ・複数の文章を読み比べる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況, 各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	「新編 論理国語」(東京書籍)

スクーリング計画(論理国語 a)

第 1 回	対話とは何か レポート①
第 2 回	「ふしぎ」ということ レポート②
第 3 回	学ぶことと人間の知恵 レポート③
第 4 回	思考の肺活量① レポート④
第 5 回	思考の肺活量② レポート④
第 6 回	複数の「わたし」 レポート⑤
第 7 回	はじめに「言葉」がある① レポート⑥
第 8 回	はじめに「言葉」がある② レポート⑥ テスト対策

スクーリング計画(論理国語b)

第 1 回	豊かさと生物多様性
第 2 回	カフェの開店準備
第 3 回	ロボットが隣人になるとき
第 4 回	もう一つの知性①
第 5 回	もう一つの知性①・②
第 6 回	もう一つの知性②
第 7 回	ホンモノのおカネの作り方①
第 8 回	ホンモノのおカネの作り方② テスト対策

文学国語

1. 講座名	文学国語 a・b
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての的確に捉える。 ・作品や文章に表れているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	「新編 文学国語」(東京書籍)

文学国語 a スクーリング計画

第 1 回	◆随筆『雨月物語』 レポート①
第 2 回	◆小説『山月記』(1) レポート②
第 3 回	◆小説『山月記』(2) レポート③
第 4 回	◆評論『言葉を生きる』(1) レポート④
第 5 回	◆評論『言葉を生きる』(2) レポート④
第 6 回	◆詩歌『永訣の朝』 レポート⑤
第 7 回	◆はじめに「言葉」がある① レポート⑥
第 8 回	◆学習のまとめ、テスト対策

文学国語 b スクーリング計画

第 1 回	◆小説『コンビニの母』 レポート①
第 2 回	◆随筆『空っぽの瓶』 レポート②
第 3 回	◆評論『映画の可能性のために』(1) レポート③
第 4 回	◆評論『映画の可能性のために』(2) レポート③
第 5 回	◆詩歌『小諸なる古城のほとり』 レポート④
第 6 回	◆小説『葉桜と魔笛』(1) レポート⑤
第 7 回	◆小説『葉桜と魔笛』(1)(2) レポート⑤⑥
第 8 回	◆小説『葉桜と魔笛』(2) レポート⑥ テスト対策

[知技]

- ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。
- ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
- ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
- ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。

[思判表]

- ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。
- ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。

国語演習

1. 講座名	国語演習 a・b
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解や文章表現に必要な国語の知識を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文や小論文を書くことを通して、実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文や小論文を通して、「考えること」「書くこと」を実践し、自分の考えや意見を、言葉を通して他者に伝える力を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の各設問を読み、問われている内容を把握する。 ・教材の各設問で問われている内容について、最適な解答を見つける。 ・教材の各設問で用いられている漢字の読み書きを習得し、それらを使って文章を書く。 ・教材の各設問で用いられている表現（修辞）技法や敬語表現を使って文章を書く。 ・教材の各設問で用いられている指示語・接続語の意味や副詞の呼応を理解し、それらを使って文章を書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙、文法、敬語 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) 小論文、作文、表現・修辞技法 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画 (a・b 共通)

第1回	①	的確に表現する① レポート①
第2回	②	的確に表現する②、原稿用紙のルール① レポート①②
第3回	③	原稿用紙のルール② レポート②
第4回	④	様々な表現技法と文章構成 レポート③
第5回	⑤	小論文を書く レポート④
第6回	⑥	待遇表現 レポート⑤
第7回	⑦	手紙の書き方 レポート⑥
第8回	⑧	まとめ

進学国語

1. 講座名	進学国語 α
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数：18 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：なし
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解や文章表現に必要な国語の知識を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論や小説、随想（随筆）の読解を通じて、書くことを通して、文章の種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学試験に向けた問題演習を通して、進路実現に対応する力を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の各設問を読み、問われている内容を把握する。 ・教材の各設問で問われている内容について、最適な解答を見つける。 ・教材の各設問で用いられている漢字の読み書きや文法、表現技法を習得する。 ・教材の各設問で用いられている指示語・接続語の意味や副詞の呼応を理解し、それらを使って文章を読解する。 ・演習問題を数多く解くことで、文章読解力を養う。 ・演習で学んだ国語の知識や技能を使って、入試用の作文・小論文を書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙、文法、敬語</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>小論文、作文、表現・修辞技法、文章読解</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画			
第1回	①	演習問題①（評論とは 読解と解法）	レポート①
第2回	②	演習問題①（評論とは 読解と解法）	レポート①
第3回	③	演習問題②（小説とは 読解と解法）	レポート②
第4回	④	演習問題②（小説とは 読解と解法）	レポート②
第5回	⑤	演習問題③（随想とは 読解と解法）	レポート③
第6回	⑥	演習問題③（随想とは 読解と解法）	レポート③
第7回	⑦	演習問題④	レポート④
第8回	⑧	演習問題④	レポート④
第9回	⑨	演習問題⑤	レポート⑤
第10回	⑩	演習問題⑤	レポート⑤
第11回	⑪	演習問題⑥	レポート⑥
第12回	⑫	演習問題⑥	レポート⑥
第13回	⑬	演習問題⑦	
第14回	⑭	演習問題⑦	
第15回	⑮	演習問題⑧	
第16回	⑯	演習問題⑧	
第17回	⑰	演習問題⑨	
第18回	⑱	演習問題⑨ テスト対策	

【補足】

※スクーリング開始前に実施したコースオリエンテーションにおいて、スクーリング内容を教科別（国語・英語・数学）に説明し、受講生徒への周知をはかる。

※国語・数学受講生徒とコース主担当者との二者面談を、スクーリング期間中のチェックテストの時間を使って実施し、受講生徒の進路志望を聞き取る。聞き取った内容は、コースのスクーリング担当者や受講生徒の担任に共有する。

進学国語

1. 講座名	進学国語b
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング*	総回数: 18 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: なし
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解や文章表現に必要な国語の知識を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論や小説、随想（随筆）の読解を通じて、書くことを通して、文章の種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学試験に向けた問題演習を通して、進路実現に対応する力を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の各設問を読み、問われている内容を把握する。 ・教材の各設問で問われている内容について、最適な解答を見つける。 ・教材の各設問で用いられている漢字の読み書きや文法、表現技法を習得する。 ・教材の各設問で用いられている指示語・接続語の意味や副詞の呼応を理解し、それらを使って文章を読解する。 ・演習問題を数多く解くことで、文章読解力を養う。 ・演習で学んだ国語の知識や技能を使って、入試用の作文・小論文を書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙、文法、敬語</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>小論文、作文、表現・修辞技法、文章読解</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画		
第1回	①	演習問題① レポート①
第2回	②	演習問題① レポート①
第3回	③	演習問題② レポート②
第4回	④	演習問題② レポート②
第5回	⑤	演習問題③ レポート③
第6回	⑥	演習問題③ レポート③
第7回	⑦	演習問題④ レポート④
第8回	⑧	演習問題④ レポート④
第9回	⑨	演習問題⑤ レポート⑤
第10回	⑩	演習問題⑤ レポート⑤
第11回	⑪	演習問題⑥ レポート⑥
第12回	⑫	演習問題⑥ レポート⑥
第13回	⑬	演習問題⑦
第14回	⑭	演習問題⑦
第15回	⑮	演習問題⑧
第16回	⑯	演習問題⑧
第17回	⑰	演習問題⑨
第18回	⑱	演習問題⑨ テスト対策

【補足】

※スクーリング開始前に実施したコースオリエンテーションにおいて、スクーリング内容を教科別（国語・英語・数学）に説明し、受講生徒への周知をはかる。

※国語・数学受講生徒とコース主担当者との二者面談を、スクーリング期間中のチェックテストの時間を使って実施し、受講生徒の進路志望を聞き取る。聞き取った内容は、コースのスクーリング担当者や受講生徒の担任に共有する。

地理総合

1. 講座名	地理総合
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング*	総回数:8 必要出席回数:2 スクーリング代替課題:1
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <p>・現在地球上で起こっている様々な問題を考えるにあたって必要な知識を身に付けるとともに、地図や資料を読み取る力を養うことができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>・また、そうした問題が起きる原因や過程を考察し、自分の考えを述べることができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <p>地球上で起こる様々な問題についてよりよい社会の実現を視野に考察し、解決しようとする態度を養うとともに、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代を生きる自覚を深めることができる。</p>
7. 活動内容	<p>・授業では、世界や国内における地理にかかわる諸事象を扱う。</p> <p>・レポートでは、世界の多様性や地球上で起こっている諸課題について基本的事項を学び、考察を深める問題に取り組む。</p>
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <p>・レポート(30%)とテスト(70%)</p> <p style="padding-left: 2em;">基本的な事象などの語句の理解・図・グラフ等の資料の読み取り</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・レポート(70%)とテスト(30%)</p> <p style="padding-left: 2em;">グラフの読み取り、比較、相互性を問う問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%)</p> <p style="padding-left: 2em;">各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数</p>
9. 教材	東京書籍『地理総合』

スクーリング計画		レポート
第1回	イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・地理を学ぶことの意義 ・地図、緯度と経度、時差	レポート①
第2回	「地図」 教科書 P5～P36 世界地図、主題図、地理情報システム	レポート①
第3回	「国際社会と文化」 教科書 P37～P67 国際理解・国際協力 生活文化と地理的環境 生活文化の多様性と国際理解	レポート②
第4回	「生活文化と自然環境」 教科書 P68～P91 生活文化と自然環境(地形・気候) 生活文化と産業	レポート③
第5回	「さまざまな地球上の問題1」 教科書 P92～P135 国際協力、環境問題、資源・エネルギー問題	レポート④
第6回	「さまざまな地球上の問題2」 教科書 P136～P172 人口問題、食料問題、居住・都市問題、民族問題 持続可能な社会	レポート⑤
第7回	「身近な地域と防災課題」 教科書 P173～P217 持続可能な地域づくり、防災 地域の諸課題	レポート⑥
第8回	「ハザードマップ～今日からできる災害対策～」 まとめ・テスト対策	

歴史総合

1. 講座名	歴史総合
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:2 スクーリング代替課題:1
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的な視野で、近現代における世界の歴史の時期や年代、背景などの事象を学ぶことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史形成を世界と日本の広い相互的な視点から学ぶことによって、現代の諸課題について考察する力を養うことができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史を学ぶことで、異文化理解や、また他者を理解し尊重し合う精神を育むことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀以降から現代までに至る、世界と日本の近現代史を相互的に学ぶ。スクーリングでは歴史の流れを大切にし、歴史を学びそれぞれの歴史事象がどう繋がっているのかを理解する。 ・レポート課題では、基本的な語句の理解から、講義で学んだ歴史的な出来事がなぜ起こったのか、どのように影響したのかを考察する課題に取り組む。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能(35%) 筆記式テスト+レポート課題 基本的な事象などの語句の理解・図・グラフ等の資料の読み取り</p> <p>②思考・判断・表現(35%) 筆記式テスト+レポート課題 グラフの読み取り、比較、相互性を問う問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度(30%) 各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数</p>
9. 教材	東京書籍『新選歴史総合』

スクーリング計画		レポート
第1回	イントロダクション「歴史への扉」 P7~P27 ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・歴史学とは ・歴史を学ぶことの意義について ・歴史の時代区分について(本講座の取り扱う時代説明)	
第2回	「結び付く世界と日本の開国」 P28~P51 18世紀のアジア・ヨーロッパ交易、産業革命、自由貿易、 19世紀の東アジアの国際秩序、日本の開国	レポート①
第3回	「国民国家と明治維新」 P52~75 市民社会、自由主義、ナショナリズム、明治維新、立憲制、帝国主義と植民地	レポート②
第4回	「第一次世界大戦と大衆社会」 P92~P111 大衆化、第一次世界大戦、国際連盟、社会主義 植民地統治と民族運動、民主主義	レポート③
第5回	「経済危機と第二次世界大戦」 P112~133 世界恐慌、民族自決、ファシズム、日中戦争、第二次世界大戦 太平洋戦争、冷戦	レポート④
第6回	「冷戦と世界経済」 P150~P169 世界の冷戦の拡大と第三勢力、世界の核開発競争、植民地の独立 経済政策、冷戦下の日本とアジア、各地域の統合	レポート⑤
第7回	「世界秩序の変容と日本」 P170~189 社会運動、石油危機、アジアの経済発展、冷戦の終結と民主化 世界の地域紛争、グローバル化	レポート⑥
第8回	まとめ・テスト対策	

世界史探究

1. 講座名	世界史探究
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：2 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>
7. 活動内容	<p>・「近代社会の形成から現代に至る世界の歴史の展開を扱い、諸地域の結合・変容という大きな枠組みを基に、世界の歴史を大きく捉えること」をねらいとしている。</p> <p>・スクーリングでは世界の歴史に見られる課題を把握し、それぞれの歴史的事象と諸地域がどう繋がっているのかを理解する。</p> <p>・レポート課題では基本的な語句の理解から、世界の歴史の課題とその展望を探究する課題に取り組む。</p>
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 筆記式テスト+レポート課題</p> <p>②思考・判断・表現 筆記式テスト+レポート課題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数</p>
9. 教材	東京書籍『世界史探究』

スクーリング計画

第1回	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・世界の歴史を探究し、世界のこれからを考える
第2回	<p>レポート①</p> <p>「諸地域の再編・17世紀の世界」P167～221</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大交易時代と世界の一体化 ・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大
第3回	<p>レポート②</p> <p>「一体化していく世界への問い」P232～P270</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民国家と近代社会の形成 ・世界市場の形成とアジア諸国の変容
第4回	<p>レポート③</p> <p>「一体化していく世界への問い」P272～P296</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア、アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行
第5回	<p>レポート④</p> <p>「19世紀後半の世界」P298～P326</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 ・国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦と戦後の東アジア
第6回	<p>レポート⑤</p> <p>「第二次世界大戦から冷戦の世界」P338～P360</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と戦後の東アジア ・冷戦の世界化と国際制度
第7回	<p>レポート⑥</p> <p>「冷戦の世界と国際制度」P363～P383</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の変容、終結と経済のグローバル化 ・21世紀の地球的課題と人類社会
第8回	<p>まとめ・テスト対策</p>

公共

1. 講座名	公共
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:2 スクーリング代替課題:1
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能の習得を目指すことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の一員として公共的な空間を作る存在であることに責任を持ち、現代の諸課題について解決の道を検討、他者と議論することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性をもって社会に参画し、自分が国家・地域社会などの一員であることを自覚することができるようにする。 ・多様なバックグラウンドをもつ他者の存在を尊重し、互いの多様性を認め合い、共生することができるようにする。
7. 活動内容	・スクーリングはレポート内容に沿って、基本的な知識を中心に学ぶ。現代社会の諸課題について自分自身の意見を表現し、共有する時間も含む。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) 基本的な用語や事象などの語句の理解・資料の読み取り <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) 数値の推移、比較、関連性を問う、考察する論述課題 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%) 各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数
9. 教材	教育図書『高等学校 公共』

スクーリング計画		レポート
第1回	イントロダクション「公共の扉」 本講座の説明、目的、意義 日本国憲法 導入	レポート①
第2回	「日本国憲法1」 前文、大日本帝国憲法との比較、立憲主義、 三つの原理、象徴天皇制、憲法改正	レポート②
第3回	「日本国憲法2」 基本的人権、平等権、自由権、表現の自由、 ヘイトスピーチ、ジェンダー、新しい人権	レポート③
第4回	「18歳選挙権」 内閣と国会、裁判員裁判、選挙のしくみ、政治と世論	レポート④
第5回	「社会保障と労働」 少子高齢化、社会保障制度（四つの柱）、労働法	レポート⑤
第6回	「消費者主権」 契約法、消費者の権利と責任、オンラインショッピング	レポート⑤
第7回	「国際平和と現代の戦争」 平和主義、紛争、民族問題	レポート⑥
第8回	テーマ学習「現代社会における身近な多様性を考えよう」 まとめ・テスト対策	

政治・経済

1. 講座名	政治・経済
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：2 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質について基本的な理解を深め、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能の習得することができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治、経済、市場、国際情勢などに関心を持ち、世界で起きている諸問題を主体的に探究・考察する態度を養うことができる。 ・共生社会で生きる市民の一員としての公正な判断力を培い、必要な解決策を実行することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国家および社会の形成を担う市民の一員としての自覚を持ち、現代の諸課題を主体的に解決することができる
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートやスクーリングを通して、政治や経済の基本的な枠組みやしくみを理解する。 ・民主政治の基本原理について、歴史的な背景を踏まえながら学習する。 ・現代社会が抱える社会的課題について考察する。 ・人間の経済的営みについて、基本的な経済理論を踏まえた上で理論と現実のギャップや今後の経済社会のあり方を考える。 ・国際社会が直面する諸課題に対し、世界を構成する一員として理解を深め、解決策を考える。
8. 評価方法	<p>5段階評価</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) 基本的な用語や事象などの語句の理解・資料の読み取り <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) 数値の推移、比較、関連性を問う、考察する論述課題 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%) 各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数
9. 教材	東京書籍『政治・経済』

スクーリング計画

第1回	<p>イントロダクション「民主政治とは何か」</p> <p>・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明を行う。</p>
第2回	レポート①「民主政治と日本国憲法」
第3回	レポート②「日本政治の特質と課題」
第4回	レポート③「現代日本の経済」
第5回	レポート④「福祉社会と日本経済の課題」
第6回	レポート⑤「グローバル化する国際社会」
第7回	レポート⑥「国際社会の諸課題」
第8回	まとめ・テスト対策

数学 I ㊤

1. 講座名	数学 I ㊤
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：2 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」「二次関数」についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。(中学までの振り返りも含める) ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力, 人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとするすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとするすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようすることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」「二次関数」の2単元について学習する。 (それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う) ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let's challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出時期とスクーリング出席回数, レポート内のチャレンジ問題【Let's challenge!】や, 振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	<p>東京書籍 新数学 I</p> <p>東京書籍 新数学 I (解答編)</p>

スクーリング計画

第1回	レポート① 数と式 整数の四則計算, 素因数分解, 公倍数, 公約数, 小数の計算, 分数の計算 について学習し理解を深める
第2回	レポート①② 数と式 工夫ができる計算/正負の数の四則計算, 文字式, 項, 式の加減, 分配法則, について学習し理解を深める
第3回	レポート② 数と式 式の展開, 因数分解 について学習し理解を深める レポート② 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)
第4回	レポート③ 数と式 平方根, $\sqrt{\quad}$ の入った四則計算, 分母の有理化 について学習し理解を深める
第5回	レポート③④ 数と式 方程式, 不等式/2次方程式 について学習し理解を深める
第6回	レポート④ 数と式・2次関数 関数, 1次関数, 2次関数, 2次関数の平行移動 について学習し理解を深める
第7回	レポート⑤ 2次関数 平方完成, 2次関数の最大値・最小値 について学習し理解を深める
第8回	レポート⑥ 2次関数 2次関数のグラフと x 軸との共有点, 2次不等式 について学習し理解を深める レポート⑥ 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)

※ 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)については、考えるためのヒントのみお伝えします。

数学 I ㊦

1. 講座名	数学 I ㊦
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 2 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図形と計量」「データの分析」「集合と論証」についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。(中学までの振り返りも含める) ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現できる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間などの関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考查し判断したりすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようすることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形と計量」「データの分析」の2単元について学習する。 (それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う) ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let's challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出時期とスクーリング出席回数、レポート内のチャレンジ問題【Let's challenge!】や、振り返り欄の記入内容等により評価

9.教材	東京書籍 新数学 I 東京書籍 新数学 I (解答編)
------	--------------------------------

スクーリング計画	
第 1 回	レポート① 図形と計量 三平方の定理, サイン・コサイン・タンジェント, 三角比の利用 について学習し理解を深める
第 2 回	レポート② 図形と計量 三角比の相互関係, $90^\circ - A$ の三角比, 三角形の面積, 正弦定理 について学習し理解を深める
第 3 回	レポート②③ 図形と計量 余弦定理, 鈍角の三角比, について学習し理解を深める レポート② 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)
第 4 回	レポート③ 図形と計量 三角比の相互関係, 三角形の面積, 余弦定理, について学習し理解を深める レポート③ 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)
第 5 回	レポート④ データの分析と計量 度数分布表とヒストグラム, 代表値と箱ひげ図, 分散と標準偏差 について学習し理解を深める
第 6 回	レポート④⑤ データの分析と計量 散布図, 相関関係 について学習し理解を深める レポート⑤ 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)
第 7 回	レポート⑥ 命題と論証 集合, 補集合, 共通部分と和集合, 命題と真・偽, 否定 について学習し理解を深める
第 8 回	レポート⑥ 命題と論証 必要条件, 十分条件, 対偶 について学習し理解を深める

※ 【Let's challenge!】 (主体的に学ぶための課題)については、考えるためのヒントのみお伝えします。

数学Ⅱa

1. 講座名	数学Ⅱa
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング*	総回数：8 必要出席回数：3 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな式, 図形と方程式, 三角関数の考えについて基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「方程式・式と証明」「図形と方程式」「三角関数」の3単元について学習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出時期とスクーリング出席回数, レポート内の振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	<p>東京書籍 新数学Ⅱ</p> <p>東京書籍 新数学Ⅱ(解答編)</p>

スクーリング計画

第1回	レポート① 方程式・式と証明 式の計算, 2次方程式 について学習し理解を深める
第2回	レポート① 方程式・式と証明 式の計算, 2次方程式 について学習し理解を深める
第3回	レポート② 方程式・式と証明 高次方程式, 式と証明 について学習し理解を深める
第4回	レポート②③ 方程式・式と証明 / 図形と方程式 高次方程式, 式と証明, 座標と直線の方程式 について学習し理解を深める
第5回	レポート③ 図形と方程式 座標と直線の方程式 について学習し理解を深める
第6回	レポート④ 図形と方程式 円の方程式, 軌跡と領域 について学習し理解を深める
第7回	レポート⑤ 三角関数 三角関数 について学習し理解を深める
第8回	レポート⑥ 三角関数 加法定理 について学習し理解を深める

数学Ⅱb

1. 講座名	数学Ⅱb
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：3 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数・対数関数，微分・積分の考えについて基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「指数関数と対数関数」「微分と積分」の2単元について学習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出時期とスクーリング出席回数，レポート内の振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	<p>東京書籍 新数学Ⅱ</p> <p>東京書籍 新数学Ⅱ（解答編）</p>

スクーリング計画

第1回	レポート① 指数関数と対数関数 指数関数 について学習し理解を深める
第2回	レポート①② 指数関数と対数関数 指数関数, 対数関数 について学習し理解を深める
第3回	レポート②③ 指数関数と対数関数 対数関数 について学習し理解を深める
第4回	レポート③ 指数関数と対数関数 対数関数 について学習し理解を深める
第5回	レポート④ 微分と積分 微分係数と導関数 について学習し理解を深める
第6回	レポート④⑤ 微分と積分 微分係数と導関数, 導関数の応用 について学習し理解を深める
第7回	レポート⑤⑥ 微分と積分 導関数の応用, 積分 について学習し理解を深める
第8回	レポート⑥ 微分と積分 積分 について学習し理解を深める

数学 A

1. 講座名	数学 A
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング [※]	総回数： 8 必要出席回数： 3 スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6 必要合格回数： 6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」の3単元について学習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートとテスト <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出時期とスクーリング出席回数、振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	<p>東京書籍 新数学A</p> <p>東京書籍 新数学A(解答編)</p>

スクーリング計画

第1回	レポート① 場合の数と確率 集合の理解, 共通部分と和集合, 集合の要素の個数, 和の法則順列, 組合せ, 試行の確率を求める, 確率の計算 排反事象の確率, 余事象の確率 について学習し理解を深める
第2回	レポート①② 場合の数と確率 / 図形の性質 独立な試行の確率の計算, 反復試行の確率, 積事象の確率, 期待値, 角の表し方, 対頂角の性質, 三角形の内角と外角の性質 について学習し理解を深める
第3回	レポート②③ 場合の数と確率 / 図形の性質 三角形の合同と相似の表し方と活用, 三角形と比の性質, 中点連結定理の利用, 三角形の重心の性質, 円の接線の長さ, 円外の点からの接線 について学習し理解を深める
第4回	レポート③④ 図形の性質 三角形の外心の性質 三角形の内心の性質, 角の二等分線と線分の比, 円周角の定理, 円周角の定理の逆/円に内接する四角形 について学習し理解を深める
第5回	レポート④⑤ 図形の性質・数学と人間の活動 接弦定理, 方べきの定理, 2つの円, 2つの直線のなす角, 平面の位置関係について学習し理解を深める
第6回	レポート⑤ 数学と人間の活動 平面と平面のなす角, 直線と平面の位置関係, 数を表す, 2進法と10進法の変換, 2進法の加法について学習し理解を深める
第7回	レポート⑥ 数学と人間の活動 位置を表す座標, 3次元の座標, 約数, 倍数, 素因数分解 について学習し理解を深める
第8回	レポート⑥ 数学と人間の活動 長さの単位, 重さの単位, 暦, 魔法陣 について学習し理解を深める

進学数学

1. 講座名	進学数学
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：0
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>進学コースを選択した生徒の中で、特に数学で受験を希望する生徒が選択する科目・講座。基礎学力を土台に、数学Ⅰの履修も終え、数学受験問題への応用力をつけ、志望校の受験攻略を目標とする。</p> <p>受験問題に取り組む中で、数学力を付けていく過程で自信と学ぶ楽しさを得ることも目指す。</p> <p>[知識・技能] 数学の基礎学力、数学Ⅰの学習内容を十分理解し、応用できる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] レポートの学習内容を通して、各単元の学習内容を理解し応用し、解答に至る式などを順序立て説明できる。他の説明を客観的に捉え共有できる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 数学の受験問題に真正面から取り組む力を、解答に至る途中式や考え方を解き、主体的に説明し、他の説明も客観的に聞き入れる中で高めていく。共通理解に導く中で、他に対する尊敬を持つ心を育てることができる。</p>
7. 活動内容	・レポート、演習問題の解答・説明の反復。添削指導に対する理解、他の説明に傾聴する姿勢。
8. 評価方法	<p>5段階評価</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 ・レポートとテスト</p> <p>②思考・判断・表現 ・レポートとテスト</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数，</p>
9. 教材	過去問情報を集積した、数学科担当教員が作成する自主教材を使用する。

スクーリング計画

第1回	レポート① 展開と因数分解・根号を含む式・1次不等式
第2回	レポート② 2次関数のグラフ、2次関数の最大値・最小値
第3回	レポート③ グラフと2次方程式・2次不等式
第4回	レポート③ グラフと2次方程式・2次不等式
第5回	レポート④ 三角比
第6回	レポート⑤ 正弦定理・余弦定理、図形の数量
第7回	レポート⑥ 集合と命題
第8回	レポート⑥ データの分析

科学と人間生活

1. 講座名	科学と人間生活
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚, 血糖濃度の調節, 免疫, 遺伝子のはたらきについて, 人間生活と関連付けて理解することができる。 ・金属やプラスチックの種類, 性質および用途と資源の再利用について, 人間生活と関連付けて理解することができる。 ・光の進み方とその基本的な性質, 目に見える光と色の見え方, 目に見えない光とその利用について, 人間生活と関連付けて理解することができる。 ・太陽と月, 地球の運動と潮汐との関係, 太陽の放射エネルギーが大気や海洋におよぼす影響について, 人間生活と関連付けて理解することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り, 科学的に考察して, 免疫記憶の利点を見だし, 表現することができる。 ・スチール缶やアルミニウム缶の再生利用の利点について, 資料などを基に科学的に考察して見だし, 表現することができる。 ・生活経験を基に, 水底が浅く見える現象などに着目し, 物質の境界面での光の進み方や偏光板の性質を理解し, 表現することができる。 ・既習の内容や生活経験を基に, 太陽の放射エネルギーに着目し, 太陽の放射エネルギーと大気や気候とのかかわりに問題を見だし, 表現することができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして, 転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる過程(セントラルドグマ)について, 自らの言葉で表現することができる。 ・資料などを調べたり, 対話したりしながら, プラスチックやその再生利用と人間生活とのかかわりについて多面的に考えることができる。 ・偏光板を通して, 繰り返しいろいろなものを見て調べたり, 対話したりしながら, 光の波としての性質を見いだすことができる。 ・学んだことを生かして, 地球の自転や公転と月の公転によりどのように日, 月, 年がつくられるか, 自分なりの図や言葉で表現することができる。
7. 活動内容	授業で学んだことや関心のあることについて表現したり, 身近な科学現象について調べたりして, 科学と私たちの生活のかかわりを探求する。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%)
9. 教材	東京書籍: 科学と人間生活

スクーリング計画

第1回	レポート①「ヒトの生命現象」1分野「視覚, 血糖濃度の調節」の解説
第2回	レポート②「ヒトの生命現象」2分野「免疫・セントラルドグマ」の解説
第3回	レポート③「材料とその再利用」分野「金属の性質用途、再生」の解説
第4回	レポート③「材料とその再利用」分野「プラスチックの性質、種類、再生」の解説
第5回	レポート④「光の性質とその利用」1分野「光の進み方と基本性質、全反射など生活の中での光の性質」の解説
第6回	レポート⑤「光の性質とその利用」2分野「目に見えない光・電磁波とその応用」の解説
第7回	レポート⑥「太陽と地球」分野「太陽の性質とその動き・放射エネルギー」の解説
第8回	レポート⑥ 「太陽と地球」分野「太陽・月・地球の関係、どのように日・月・年が刻まれるか」の解説

化学基礎

1. 講座名	化学基礎
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 2 スクーリング代替課題: 1
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上のものは色々な物質でできている。それはどんな成分でどんな元素で構成しているのかを理解することができる。 ・原子とはどのような構造をしているのか、元素の性質の規則性とはどういうものなのか理解し周期表の存在を知ることができる。 物質同士が結びつくことで新たな物質をつくる。これらを化学結合といい、その結びつきの種類と性質を理解することができる。 ・物質の考え方から極めて小さい原子や分子の質量をどのようにあらわされているか理解することができる。 溶液の濃度と物質の関係を理解し、化学反応式の規則を身に着けることができる。 ・酸性や塩基性を呈するという事は物質がどんな状態なのか知り、酸と塩基の組み合わせでどのような化学変化が起こるか理解することができる。 ・酸化、還元とはどのような反応で私たちはそれをどのように利用しているのか理解できる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合物の成分を知るための分離方法を知り、純性物質の見つけかたを知ることができる。 ・いろいろな物質同士の結合は様々な結び方があることを理解できる。 ・極めて小さい原子、分子から相対的な元素の質量を理解し、化学変化における質量の変化を探求することができる。 ・物質の溶液の性質を理解し中和とはどんな仕組みを見つけ、生活の中で同じ現象を理解することができる。 ・酸化剤、還元剤は生活の中でどのような働きがあるか、探求することができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは生活している上でさまざまな化学変化と関わっている。どんなかわりがあるかを科学的に探究することができる。 ・私たちの台所には必ずと言っていいほど化学のしくみで成り立っている。その仕組みを科学的探求することができる。 ・私たちは毎日生活をおくるために多くの物質や化学変化を利用している。これらの化学の役割を探求することができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・化学を学び、その化学変化についての理解を深め、化学の役割を理解し、知識を深めることができる。

8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) ②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの提出は前期7月半ば後期 12月半ばとスクーリング(8回)出席(100%)
9. 教材	東京書籍:新編化学基礎

スクーリング計画	
第1回	レポート① 物質の成分はどのようなものででき、どのような元素で構成されているのかを理解する。
第2回	レポート② 原子はどのような構造をし、どのような規則に基づいて周期表をつくられているのかを理解する。
第3回	レポート③ 物質はどのような化学結合で結びついているのかを理解する。
第4回	レポート③ 物質の化学結合は物質によって結合の種類を知る。
第5回	レポート④ 物質量の考え方と化学反応の関係を知る。
第6回	レポート④化学反応の種類と性質を学習する。
第7回	レポート⑤水溶液には酸や塩基などの性質を持ちその原理と法則を知る。
第8回	レポート⑥ 酸化と還元の仕事はCの良なものがあるかを知り、生活の中で利用されていることを学ぶ。

生物基礎

1. 講座名	生物基礎
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・遺伝子とその働きについて、遺伝情報と DNA の基本的な概念や原理・法則などとタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な知識を身につけることができる。 ・神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・免疫について、免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性・生物とエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって科学的に探究することができる。 ・遺伝情報と DNA・タンパク質の合成について、問題を見だし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究することができる。 ・情報の伝達について、問題を見だし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究することができる。 ・植生と遷移について、問題を見だし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究することができる。 ・生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見だし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究することができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性・生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもった発言をするなど、科学的に探究することができる。 ・遺伝情報と DNA・タンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもった発言をするなど、科学的に探究することができる。 ・情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもった発言をするなど、科学的に探究することができる。 ・免疫の働きについて、問題を見だし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究することができる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり,見通しをもった発言をするなど,科学的に探究することができる。 ・植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり,見通しをもった発言をするなど,科学的に探究することができる。 ・生態系と生物の多様性,ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり,見通しをもった発言をするなど,科学的に探究することができる。
7. 活動内容	生物や生物現象について理解するとともに,授業で学んだことや関心のあることについて表現する。生命を尊重し,自然環境の保全に寄与する態度を養う。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) ②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%)
9. 教材	東京書籍:新編生物基礎

スクーリング計画	
第1回	生物の多様性と共通性の原理原則・細胞の特徴などを学び,考察できる力をつける(レポートNo.1)
第2回	生物とエネルギーについての原理・事象などについて学び,自ら考察できる力をつける(レポートNo.1)
第3回	遺伝情報とDNAについて基本的な概念とその構造,機能を学び,その原理を身につけて自ら考察できる力をつける(レポートNo.2)
第4回	遺伝情報とタンパク質合成についてセントラルドグマと細胞の分化について学び,自ら考察できる力をつける(レポートNo.2)
第5回	神経系と内分泌系による調節について,基本的な概念や原理・法則などを学び,自ら考察できる力をつける(レポートNo.3)
第6回	免疫について学び,基本的な概念や原理・法則などを学ぶとともに,自ら考察できる力をつける(レポートNo.4)
第7回	植生と遷移について学び,自ら考察できる力をつける(レポートNo.5)
第8回	生態系とその保全について学び,自ら考察できる力をつける(レポートNo.6)

	的に探究することができる。 ・地球環境の科学について主体的に関わり,見通しをもったり振り返ったりするなど,科学的に探究することができる。
7. 活動内容	・日常生活や社会との関連を図りながら,地球や地球を取り巻く環境や宇宙について理解するとともに,科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。
8. 評価方法	5段階評定 観点別評価 ①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) ②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席(100%)
9. 教材	東京書籍:地学基礎

スクーリング計画	
第1回	惑星としての地球・活動する地球,地球の形と大きさ,地球内部の層構造,プレートの運動などを学び,考察できる力をつける(レポートNo.1)
第2回	大気と海洋,地球の熱収支について主体的に関わり,その事象の生じる原因や仕組みを科学的に探究させる(レポートNo.2)
第3回	大気の大循環・海水の運動などを学び,主体的なかかわりを持って自然事象・現象から科学的に探求できるようにする(レポートNo.2)
第4回	宇宙の誕生と地球の誕生・その特徴を学び,主体的なかかわりを持ってその規則性を見出し普遍的・一般的な概念を理解する。(レポートNo.3)
第5回	(レポートNo.4)地層をもとにした地球の変遷について学び,グラフ・データをもとに主体的にかかわりを持って科学的な探求を行う
第6回	(レポートNo.4)地球史を学び,主体的に地質的自然環境と生物との関わりを科学的な探求を行う
第7回	(レポートNo.5)日本の自然環境について学び,既知の事柄・原理・法則をもとに主体的にかかわりを持って科学的な探求を行う
第8回	(レポートNo.6)地球環境の考え方,自然環境の変化などを学び,グラフ・データをもとに直面した新たな問題を主体的・科学的な探求を行う

地学基礎

1. 講座名	地学基礎
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惑星としての地球・活動する地球, 地球の形と大きさ, 地球内部の層構造, プレートの運動について理解することができる。 ・大気と海洋・大気と海水の運動について理解し, 地球の熱収支について理解することができる。 ・宇宙, 太陽系と地球の誕生について理解することができる。 ・地球の変遷についての授業を通して, 気候や地形生物とのかかわりについて理解することができる。 ・日本の自然環境についての授業を通して, 地形の特徴を理解することができる。 ・地球環境の科学についての授業を通して, 地球全体として人間の活動が環境に影響を及ぼすことについて理解することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球について, 太陽系のほかの惑星とのかかわりの問題を見だし, 考察し, 科学的に探究することができる。 ・大気と海洋, 地球の熱収支について, 地球と宇宙空間との問題を見だし, 考察し, 科学的に探究することができる。 ・宇宙, 太陽系と地球の誕生, 地球の変遷と生物の進化とのかかわりとの問題について, 考察し, 科学的に探究することができる。 ・地球の変遷についての授業を通して, 宇宙, 太陽系と地球の誕生について, 問題を見だし見通しをもって, 考察し, 科学的に探究することができる。 ・日本の自然環境について, 自然環境と災害のかかわりとの問題を見だし見通しをもって考察し, 科学的に探究することができる。 ・地球環境の科学について, 地球環境への現状と未来の問題を見だし, その仕組みを考察し, 科学的に探究することができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惑星としての地球・活動する地球について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究することができる。 ・大気と海洋, 地球の熱収支について主体的に関わり, 見通しをもって, 科学的に探究することができる。 ・宇宙, 太陽系と地球の誕生, 地球の変遷について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究することができる。 ・地球の変遷についての授業を通して, 主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究することができる。 ・日本の自然環境について主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学

体育 a

1. 講座名	体育a
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	3単位
4. スクーリング*	総回数: 16 必要出席回数: 16 スクーリング代替課題: 9
5. レポート	総回数: 3 必要合格回数: 3
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <p>・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回: レポートに取り組み、バレーボールへの興味・関心を深める ・第2回: バレーボールを用いて、アンダーハンドパス・オーバーハンドパスなどの基本的な動作・スキルを身につける ・第3回: アンダーハンドパス・オーバーハンドパスで相手やチームメートにパスをするスキルを身につけ、自分の思い通りのボールコントロールなどが出来るように学ぶ ・第4回: レポートに取り組み、運動に必要なトレーニングの知識、動きのメカニズムを学ぶ ・第5回: 3~4名でのパス回しなど、コミュニケーションをとりながらチームで協力し、目標への取り組みを目指す ・第6回: ローテーションやサービスなどの実際の試合で必要とされる知識・スキルを身につけていきながら、仲間との連携を深める ・第7回: 試合を通し、各ポジションでの動きを身につけ、ゲーム感覚を養う ・第8回: レポートに取り組み、実技授業での振り返りを行う。運動、スポーツ時におけるケガや事故についてのリスクを考え、対策などを学ぶ
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <p>レポート・スクーリング及びテストで評価</p>

	<p>②思考・判断・表現 レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 レポート・スクーリング及びテストで評価</p>
9. 教材	<p>現代高等保健体育(大修館書店)</p> <p>ステップアップスポーツ</p>

スクーリング計画	
第1回 ①②(座学)	<p>スポーツにおける技術と戦術・技能の上達過程と練習</p> <p>効果的な動きのメカニズム・体カトレーニング</p>
第2回 ③④(実技)	<p>バレーボール</p> <p>□ボールを使い、身体の動かし方やそれぞれの現状でのスキルを確認し、個人に応じた目標設定ができるようにする。</p>
第3回 ⑤⑥(実技)	<p>バレーボール</p> <p>□ボールを用いて、バレーボールの基本動作を習得し、状況に応じたボール操作が出来るようになることを目標とする。</p>
第4回 ⑦⑧(座学)	<p>バレーボール</p> <p>□複数人でのラリーからボールをつなぐために必要な動作や留意点を考え、ゲームへの導入が出来るように、仲間との協調を育むことを目標とする</p>
第5回 ⑨⑩(実技)	<p>バレーボール</p> <p>□ゲームを行う上で必要なローテーションの動きやチームでの連携などを図り、チームでのコミュニケーションからお互いをカバーしあうなどの動きを身につける事を目標とする。</p>
第6回 ⑪⑫(実技)	<p>バレーボール</p> <p>□簡易ゲームを通じ、実際のゲームに向けての動きや知識を身につけることを目標とする。</p>
第7回 ⑬⑭(実技)	<p>バレーボール</p> <p>□実際の試合を通し、ゲームに必要な動き・知識を身につけ、各ポジションでの必要に応じたプレイを行い、勝敗が競いあえるようになることを目標とする</p>
第8回 ⑮⑯(座学)	<p>運動やスポーツでの安全の確保。</p>

体育 b

1. 講座名	体育b(バドミントン・バスケットボール)
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 10 必要出席回数: 10 スクーリング代替課題: 6
5. レポート	総回数: 2 必要合格回数: 2
6. 目標	<p>【知識・技能】 ・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てることができる。</p> <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることができる。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実技形式 ・個人でのスキル(技術)練習 ・ペアでのラリーやパス練習 ・試合形式(簡易ゲームなど)
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>②思考・判断・表現 レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 レポート・スクーリング及びテストで評価</p>
9. 教材	<p>大修館 現代高等保健体育</p> <p>大修館 ステップアップ高校スポーツ</p>

スクーリング計画

第1回	オリエンテーション、レポート①②作成
第2回	実技①バドミントン(ラケット・シャトル慣れ、ラリー) バスケットボール(ボール慣れ、パス、ドリブル、シュート)
第3回	実技②バドミントン(ラリー、サーブ、簡易ゲーム) バスケットボール(シュート、ペアでのシュート、)
第4回	実技③バドミントン(簡易ゲーム) バスケットボール(試合)
第5回	実技④バドミントン(シングルス・ダブルス) バスケットボール(試合) レポート①②③完成、振り返り

体育 c

1. 講座名	体育c(卓球・テニス)
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：10 必要出席回数：10 スクーリング代替課題：6
5. レポート	総回数：2 必要合格回数：2
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <p>・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てることができる。</p> <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることができる。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実技形式 ・個人でのスキル(技術)練習 ・ペアでのラリー練習 ・試合形式(簡易ゲーム)
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>②思考・判断・表現 レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 レポート・スクーリング及びテストで評価</p>
9. 教材	<p>大修館 現代高等保健体育</p> <p>大修館 ステップアップ高校スポーツ</p>

スクーリング計画

第 1 回	オリエンテーション、レポート①②作成
第 2 回	実技①卓球(ラケット・ボール慣れ、ラリー) テニス(ラケット・ボール慣れ、ラリー)
第 3 回	実技②卓球(ラリー、サーブ、簡易ゲーム) テニス(ラリー、壁打ち)
第 4 回	実技③卓球(簡易ゲーム) テニス(ラリー、サービス練習、サービスからの返球練習)
第 5 回	実技④卓球(ダブルス・シングルス) テニス(簡易ゲーム) レポート①②③完成、振り返り

保健

1. 講座名	保健
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:2 スクーリング代替課題:1
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <p>・現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じての健康、健康のための社会づくりの、4つの分野について知識として取り入れることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・健康づくりに関する知識、要因を理解したうえで、現代社会での問題に対して気づき、判断して、自らがどのように行動するかを考える、説明できる。</p> <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・現代社会における現状と課題に対して主体的に参加するための資質・能力を持つことができる。</p>
7. 学習内容	<p>・教科書に書いてある語句や考え方、要因を理解し、自分なりに適切に判断して表現できるようにレポートに取り組む。</p> <p>・現代社会における問題、自らを取り巻く環境を理解し、変化に対応できる知識を身に着ける。</p> <p>・心肺蘇生法、性教育など生涯にわたって必要となる知識、スキルを身に着ける。</p>
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <p>レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>○健康に関する基礎的な知識や活用は、レポートとテストによって評価する。</p> <p>○学習内容から学んだ知識を適切に判断して説明できているかは、レポートおよび提出課題やテストによって評価する。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>レポート・スクーリング及びテストで評価</p> <p>○現代の健康に関してはそれを取り巻く環境、自分自身の問題の発見・解決に向けて自分のこととして考えるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>レポート・スクーリング及びテストで評価の内容、スクーリング出席回数で評価する。</p> <p>○自ら評価し改善しようとしている姿勢は、レポート、提出物</p>
9. 教材	大修館 現代高等保健体育

スクーリング計画

第1回	<p>【現代社会と健康】健康の考え方と成り立ち、生活習慣病の予防と回復、がんの原因・予防・治療と回復</p> <p>※教科書 p6~p16</p>
第2回	<p>【現代社会と健康】○運動、食事、休養・睡眠と健康喫煙、薬物乱用と健康、精神疾患の特徴・予防・回復</p> <p>※教科書 p20~p40</p>
第3回	<p>【現代社会と健康】</p> <p>○現代の感染症と予防、性感染症・エイズとその予防 ※教科書 p28~p51</p>
第4回	<p>【安全な社会生活】</p> <p>○事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通における安全、応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法</p> <p>※教科書 p60~p72</p>
第5回	<p>【生涯を通じる健康】</p> <p>○思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>※教科書 p76~p84</p>
第6回	<p>【生涯を通じる健康】</p> <p>○結婚生活、中高年期と健康、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活</p> <p>※教科書 p88~p96</p>
第7回	<p>【健康を支える環境づくり】</p> <p>○大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康、環境と健康にかかわる対策、ごみの処理と上下水道の整備、食の安全性、食品衛生にかかわる活動</p> <p>※教科書 p100~p118</p>
第8回	<p>【健康を支える環境づくり】</p> <p>○保健サービス、医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>※教科書 p116~p126</p> <p>○テスト対策</p>

美術 I

1. 講座名	美術 I
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:8 スクーリング代替課題:4
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>[知識・技能] 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生涯にわたり美術を愛好する心情を育つことができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 美術文化についての理解を深め、美を愛する心と、多文化（他者）を認める寛容の心が育つことができる。</p>
7. 学習内容	<p>主に下記項目分野の作品を鑑賞し、表現方法について学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋美術…透視図法、デッサン 2. 日本美術 3. デザイン…レタリング 4. 写真・アニメーション
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価 美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の観点により課題作品の制作の様子やレポート記述の点検等により行う。</p> <p>①知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。</p> <p>②思考・判断・表現 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>
9. 教材	「高校生の美術I」（日本文教出版）

スクーリング計画

第1回	透視図法が用いられた作品を鑑賞し、明暗技法を学んだうえで、透視図法を用いた作品制作を行う。
第2回	西洋美術作品に触れ、ものを見る視点や表し方について学び、自分の手をデッサンすることで表現に繋げる。
第3回	日本美術史を学び、作品鑑賞の中から自分の興味や関心を探る。そして自分の身近なものをデッサンする。デザインのもつ機能や役割について学び、生活の中にあるデザインの必要性を考え、お気に入りの製品について調べる。
第4回	キャラクター・パッケージデザインについて学びレタリング制作を通して文字のデザインの基本を学ぶ。また、写真やアニメーションの技術や構図について学び、実際にアニメーションのコマ割りを考え、オリジナルの作品を制作する。

書道 I

1. 講座名	書道 I
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:4 スクーリング代替課題:4
5. レポート	総回数:6 必要合格回数:6
6. 目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>[知識・技能] ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けることができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] ・主体的に生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>
7. 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・書写で学んできたこと、用具・用材、姿勢・執筆法 ・漢字の書の成立と変遷、古典に基づく学習 ・楷書「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 ・行書「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 ・草書「真草千字文」 隸書「曹全碑」 篆書「泰山刻石」 ・仮名の成立 平仮名の単体 変体仮名 連綿 ・「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」 ・漢字仮名交じりの書 篆刻と落款
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>下記の三観点において、課題作品の制作の様子やレポート記述の点検等により行う。</p> <p>①知識・技能 ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。</p> <p>②思考・判断・表現 ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>

9.教材	「書道Ⅰ」(東京書籍)
------	-------------

スクーリング計画	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名、行書と行書に調和する仮名について学習する。 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・基本の姿勢、執筆法について、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・隸書が成立する過程や隸書の特徴について理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 ・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞し、その美について理解する。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について理解する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する ・平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ・古筆を鑑賞し、その美について理解する。 ・漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・落款の意味や種類について理解する。 ・篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 ・篆刻の作品を鑑賞する。

英語コミュニケーション I ㊦

1. 講座名	英語コミュニケーション I ㊦
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ・多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養うことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した文法を使って、コミュニケーションをとったり、文章を書いたりすることができる。 ・身近な話題や異文化について学び、情報や考え、気持ちなどを論理的に書いて伝えることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各課のテーマは自己紹介、好きな食べ物、動物、行ってみたい場所など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように(可能な人は)ペアで会話練習する。 ・基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。 ・レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、間違いを恐れず、積極的に書く。 ・各課の終わりにはスクーリングを振り返り、学んだことや感じたことなどをレポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>読解、作文、会話の問題</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)</p>
9. 教材	All Aboard! English Communication I 東京書籍

スクーリング計画

スクーリング 回数	授業内容	レポート
第 1 回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Warm-Up P.10~11 Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	レポート①
第 2 回	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food Lesson 1 Breakfast around the World	レポート①②
第 3 回	Lesson 1 Breakfast around the World Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	レポート②③
第 4 回	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	レポート③
第 5 回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	レポート④
第 6 回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート④⑤
第 7 回	Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート⑤
第 8 回	Lesson 5 Learning from the Sea	レポート⑥
第 9 回	Lesson 5 Learning from the Sea 復習	レポート⑥

英語コミュニケーション I ㊦

1. 講座名	英語コミュニケーション I ㊦
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ・多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養うことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した文法を使って、コミュニケーションをとったり、文章を書いたりすることができる。 ・身近な話題や異文化について学び、情報や考え、気持ちなどを論理的に書いて伝えることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各課のテーマは、日本の伝統文化（浮世絵）、歴史上の人物（アンネ・フランク）、環境問題、戦争と平和など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をする。 ・基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、間違いを恐れず、積極的に書く。 ・各課の終わりにはスクーリングを振り返り、学んだことや感じたことなどをレポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評価</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>読解、作文、会話の問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)</p>
9. 教材	All Aboard! English Communication I 東京書籍

スクーリング計画

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson 6 Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第2回	Lesson 6 Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第3回	Lesson 7 A Diary of Hope	レポート②
第4回	Lesson 7 A Diary of Hope Lesson 8 A Door to a New Life	レポート②③
第5回	Lesson 8 A Door to a New Life	レポート③
第6回	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	レポート④
第7回	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution Lesson 10 Pigs from across the Sea	レポート④⑤
第8回	Lesson 10 Pigs from across the Sea	レポート⑤
第9回	復習	レポート⑥

英語コミュニケーションⅡα

1. 講座名	英語コミュニケーションⅡα
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8 必要出席回数：8 スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6 必要合格回数：6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ・多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養うことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した文法を使って、コミュニケーションをとったり、文章を書いたりすることができる。 ・身近な話題や異文化について学び、情報や考え、気持ちなどを論理的に書いて伝えることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各課のテーマは今年やってみたいこと、世界の祭り、世代を超えて人気のある人物、海外の観光地、伝統文化（歌舞伎）などのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。 ・レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、間違いを恐れず、積極的に書く。
8. 評価方法	<p>5段階評価</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>読解、作文、会話の問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)
9. 教材	All Aboard! English Communication II 東京書籍

スクーリング計画		
スクーリング回数	授業内容	レポート
第1回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Pre Lesson 1 My Plans for This Year	レポート①
第2回	Pre Lesson 1 My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island	レポート①
第3回	Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles	レポート①②
第4回	Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men	レポート②③
第5回	Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero	レポート③④
第6回	Lesson 4 Little Hero Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	レポート④⑤
第7回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	レポート⑤
第8回	Pre Lesson 1～ Lesson 5 まとめ	レポート⑥

英語コミュニケーション II b

1. 講座名	英語コミュニケーション II b
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ・身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ・多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養うことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した文法を使って、コミュニケーションをとったり、文章を書いたりすることができる。 ・身近な話題や異文化について学び、情報や考え、気持ちなどを論理的に書いて伝えることができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養うことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各課のテーマは伝統野菜についてのグループ発表、世界的で壁画を描く活動、自然界のデザインをヒントに開発された製品についてなど、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように(可能な人は)ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。 ・レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、間違いを恐れず、積極的に書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(30%)とテスト(70%) <p>語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(70%)とテスト(30%) <p>読解、作文、会話の問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)
9. 教材	All Aboard! English Communication II 東京書籍

スクーリング計画		
スクーリング回数	授業内容	レポート
第1回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson6 Seed for Future Generation (文法)	レポート①
第2回	Lesson7 Over the Wall	レポート①②
第3回	Lesson7 Over the Wall Lesson8 Inspiration from Nature	レポート②③
第4回	Lesson8 Inspiration from Nature Lesson6~8 の復習 (文法)	レポート①~③
第5回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate	レポート④
第6回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate Lesson10 Fighting Angel	レポート④⑤
第7回	Lesson10 Fighting Angel	レポート⑤
第8回	Lesson9~10 の復習 (文法)	レポート⑥

論理表現 I

1. 講座名	論理表現 I
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 スクーリング代替課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能] 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 場面や状況、相手の立場を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したり、相手にわかりやすく道順を説明するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を話したり書いたりする活動を通して、自分の考えや情報などを伝える方法を学ぶ。 ・論理の構成や展開を工夫し、情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたりして相手に伝える。 ・レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、間違いを恐れず、積極的に書く。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) 読解、作文、会話の問題</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)</p>
9. 教材	NEW FAVORITE I 東京書籍

スクーリング計画

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson1 初めての食事	レポート①
第2回	Lesson2 道に迷う	レポート②
第3回	Lesson3 人物紹介	レポート③
第4回	まとめ1	レポート①～③
第5回	Lesson4 体調が悪い	レポート④
第6回	Lesson5 買い物	レポート⑤
第7回	Lesson6 行ってみたい場所	レポート⑥
第8回	まとめ2	レポート④～⑥

韓国朝鮮語入門

1. 講座名	韓国朝鮮語入門
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	3単位
4. スクーリング	総回数:16 必要出席回数:12 スクーリング代替課題:7
5. レポート	総回数: 9 必要合格回数: 9
6. 目標	<p>[知識・技能] ハングルの書き方や発音、基礎的な文法や語彙を習得することができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 基礎的な名詞、動詞、形容詞等を用いて単文を構成し、身近な事柄について表現することができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 自分と韓国の言語や文化のつながり、興味関心の理由について探り、個々の生徒が独自に学びたい知識や言語スキル、学習方法を見出すことができる。</p>
7. 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル、単母音、子音、激音など、反復練習などを通して修得する。 ・また動画や読み物などを通して韓国の習慣や文化について触れる。
8. 評価	5段階評価 ----- 観点別評価 ①知識・技能 レポート30%、テスト70% ②思考・判断・表現 レポート70%と実技テスト30% ③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数100%
9. 教材	白帝社 高校生のための韓国朝鮮語 新・好きやねんハングル I

スクーリング計画

スクーリング回数	授業内容	レポート	
第1回	「ハングル」・単母音	レポート①	P 8~P13
第2回	子音①・子音②	レポート②	P14~P17
第3回	子音③・濁る音・母音子音のまとめ	レポート③	P18~P23
第4回	激音・二重母音①・二重母音②	レポート④	P24~P29
第5回	復習・韓国文化の紹介	レポート⑤	韓国文化への感想文
第6回	濃音・復習と整理・パッチム①・②	レポート⑥	P30~P37
第7回	パッチム後の発音・連音・まとめ	レポート⑦	P38~P45
第8回	会話文法 第1課 第2課 復習	レポート⑧	P35~P59
		レポート⑨	P13~P42

中国語入門

1. 講座名	中国語入門
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	3単位
4. スクーリング	総回数:16 必要出席回数:12 スクーリング代替課題:7
5. レポート	総回数:9 必要合格回数:9
6. 目標	<p>[知識・技能] 短母音・声調・子音発音・複合母音・鼻母音といった中国語独自の発音、基礎的な文法や語彙を習得することができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 基礎的な名詞、動詞、疑問詞などを用いて単文を構成し、身近な事柄について表現する。自己紹介を含めた簡単な日常会話を習得することができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 自分と中国の言語や文化のつながり、興味関心の理由について探り、個々の生徒が独自に学びたい知識や言語スキル、学習方法を見出すことができる。</p>
7. 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の読み方、意味など、基礎的な構文や日常会話文を通して学ぶ。 ・また、中国文化や現代の中国事情にも視聴覚教材を通して学習する。
8. 評価	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 レポート30%、テスト70%</p> <p>②思考・判断・表現 レポート70%と実技テスト30%</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数100%</p>
9. 教材	白水社 《最新2訂版》中国語はじめの一步(CD付)

スクーリング回数	授業内容	レポート	
第1回	短母音・声調・子音	レポート①	短母音・声調・子音
第2回	複合母音・鼻母音	レポート②	複合母音・鼻母音
第3回	時間をたずねる	レポート③	時間をたずねる
第4回	名前と大学をたずねる	レポート④	名前と大学をたずねる
第5回	中国文化の紹介	レポート⑤	中国文化の紹介
第6回	「なに」の表現	レポート⑥	「なに」の表現
第7回	「いる」・「ある」・疑問文	レポート⑦	「いる」・「ある」・疑問文
第8回	指示代名詞・疑問文	レポート⑧	指示代名詞・疑問文
		レポート⑨	総合練習問題

ESL

1. 講座名	ESL(a)
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 放送視聴課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能] 国や地域の名前、家族の呼び名、曜日や月、身の回りの物、身体的な特徴、習慣的な行動などを表現する語彙、基本的な文法を用いて短い文を理解することができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 自分の国や住んでいる町、家族や余暇の過ごし方、学校生活など、身近なテーマについて、短い会話を通して相手とやり取りすることができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 主に自分や家族、学校について、まとまりのある文章を書き、事前に準備をして発表することができる。</p>
7. 活動内容	文法練習、聴解練習、会話練習、ロールプレイ、短い作文、発表などを行う。
8. 評価方法	5段階評価 観点別評価 ①知識・技能 レポート 30%、実技テスト 70% ②思考・判断・表現 レポート 70%、実技テスト 30% ③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数 100%
9. 教材	『Get Ahead 1』(Oxford 出版)

スクーリング 回数	授業内容	レポート 提出期限
1	Self-introduction Unit 1 : In the classroom - Questions in the classroom	
2	Unit 1 : In the classroom - Meeting people	Report 1
3	Unit 2: Faces - Describing people	Report 2
4	Unit 2: Faces - Asking to borrow things	Report 3
5	Unit 3: Free time - Talking about free time activities	
6	Unit 3: Free time - Discussing what to do	Report 4
7	Unit 4: School subjects - School schedules	Report 5
8	Unit 4: School subjects - Exchanging opinions	Report 6

ESL(b)

1. 講座名	ESL(b)
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数: 8 必要出席回数: 8 放送視聴課題: 4
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>[知識・技能] 天気や温度、服装、物の位置、食べ物、建物、街並みなどを表現する語彙を使用し、基本的な文法を用いて短い文を書くことができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 友人を誘う、物や建物の場所を尋ねる、食事について話す、レストランで注文するなど、身近なテーマや状況において、相手と会話することができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 余暇活動、食事の習慣、住んでいる場所などについて、まとまりのある文章を書き、事前に準備をして発表することができる。</p>
7. 活動内容	文法練習、聴解練習、会話練習、ロールプレイ、短い作文、発表などを行う。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 レポート 30%、実技テスト 70%</p> <p>②思考・判断・表現 レポート 70%、実技テスト 30%</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数 100%</p>
9. 教材	『Get Ahead 1』(Oxford 出版)

スクーリング回数	授業内容	レポート提出期限
1	Self-introduction Unit 5: Weather, clothes – Favorite months	
2	Unit 5: Weather, clothes – Making arrangements	Report 1
3	Unit 6: At home, in the classroom – Where is my school bag?	Report 2
4	Unit 6: At home, in the classroom – Describing your school	Report 3
5	Unit 7: Breakfast, lunch and dinner – What do you eat for breakfast?	
6	Unit 7: Breakfast, lunch and dinner – Ordering food	Report 4
7	Unit 8: Places in town, stores – What is your neighborhood like?	Report 5
8	Unit 8: Places in town, stores – Giving directions	Report 6

進学英語

1. 講座名	進学英語 α
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング*	総回数: 18 必要出席回数: 8
5. レポート	総回数: 6 必要合格回数: 6
6. 目標	<p>進路選択で、大学/短大/各種専門学校を選択、英語の学力試験を課される生徒を対象に、文法基礎の理解と短文(主題のある文章)の読解力の基礎の修得を目標とする。また、良質な洋楽(ポップミュージック)、You-tubeなども視聴し、英語の感覚、論理に気づき、知る。</p> <p>[知識・技能] 英語の基礎文法を理解し、主題のある文章を読むことができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 英文の論理構造を把握し、文章の主題をつかむことができる。また、語句整序、英作文の学習により、適切な英語表現をできる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 良質な洋楽、You-tube 視聴などから英語に興味と関心を持ち、進学演習サポートの自習と演習を通し自ら学んでいく姿勢を作ることができる。</p>
7. 活動内容	スクーリング時に配布するプリントを元に講義→演習が基本パターン。また洋楽や英語で表見された You-Tube、映画なども活用して、理解を深めていく。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>① 知識・技能 基本的に単位認定テストにおける知識・技能の達成度で評価</p> <p>② 思考・判断・表現 単位認定テスト及びレポートの記述、授業中の態度等で評価</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 スクーリング出席回数と授業中の学習態度等で評価</p>
9. 教材	スクーリング中に配布するプリント、

スクーリング(学習サポート)回数	授業内容	レポート
第1回(5/8)	文型1	レポート①
第2回(5/13)	文型2	
第3回(5/15)	不定詞1	レポート②
第4回(5/20)	不定詞2	
第5回(5/22)	動名詞1	レポート③
第6回(5/27)	動名詞2	
第7回(5/29)	分詞1	レポート④
第8回(6/3)	分詞2	
第9回(6/5)	分詞3	レポート⑤
第10回(6/10)	復習1	
第11回(6/12)	関係代名詞1	レポート⑥
第12回(6/17)	関係代名詞2	
第13回(6/19)	関係代名詞3	
第14回(6/24)	関係代名詞4	
第15回(6/26)	復習2	
第16回(7/1)	区と節1	
第17回(7/3)	区と節2	
第18回(7/8)	区と節3	

家庭基礎

1. 講座名	家庭基礎
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8時間 必要出席回数:6時間 スクーリング代替課題:3時間
5. レポート	総回数:6回 必要合格回数:6回
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <p>・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得することができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、本校の教育の本質である「命の尊厳」を前提とした自らの課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養うことができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <p>・多様な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地球市民としての視野を持ち、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養うことができる。</p>
7. 活動内容	<p>・レポート:6回 教科書の内容を学習しながら、実習を行う。</p> <p>・スクーリングは2時間連続の計4回(8時間分)の講座。</p>
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <p>・レポートとテスト</p> <p>教科書とレポートで単元ごとの学習内容を把握</p> <p>・実習での学習態度・学習内容の把握を評価する。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・レポートとテスト</p> <p>教材②とレポートで単元ごとの学習内容を把握</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・調理・裁縫の実習での取り組みを評価する。</p>
9. 教材	教科書:家庭基礎(東京書籍)

スクーリング計画	
スクーリング回数	学 習 内 容 ・レポ-ト回数
第1・2回	家族・社会との共生 ①(教科書P12~P37)(教科書P38~P77) (レポ-ト回数1)第1章「生涯を見通す」・第2章「人生をつくる」 (レポ-ト回数2)第3章「子どもと共に育つ」・第4章「超高齢社会を共に生きる」
第3・4回	家族・社会との共生 ②生活の自立①「食生活をつくる」(実習)(教科書 P78~P117) (レポ-ト回数3)第5章「共に生き、共に支える」、第6章「食生活をつくる1~5」
第5・6回	生活の自立②(教科書P118~P163)(実習) (レポ-ト回数4)第6章「食生活をつくる6・7」、第7章「衣生活をつくる」(5/29)
第7・8回	生活の自立③(教科書P164~P183)、生活の創造(教科書P184~P213) (レポ-ト回数5)第8章「住生活をつくる」(レポ-ト回数6)第9章「経済生活を営む」、第10章「持続可能な生活を営む」、 生活の創造 第11章「これからの生活を創造する」

情報 I

1. 講座名	情報 I
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数:8 必要出席回数:4 スクーリング代替課題:2
5. レポート	総回数:4 必要合格回数:4
6. 目標	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する科学的な見方・考え方を働かせることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。 <p>【主体性・学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会に主体的に参加するための資質・能力持つことができる。
7. 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とメディアの特性（表現メディアの違いによるメリットとデメリット）を学ぶ。 ・情報モラル（情報社会で生活していくための情報モラル）を理解する。 ・デジタルの世界、デジタルデータとは何かを学習する。 ・情報デザインとは何かを学習する。 ・コンピュータの基本構成について理解する。 ・ネットワークとインターネット（情報通信ネットワーク）とは何かを学習する。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>レポート、スクーリングとテストで評価し、書く評価項目は以下の方法に従って行う。</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやメディアなどの基礎的な知識や活用は、レポートとテストによって評価する。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、レポートおよびテストによって評価する。 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に、情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている姿勢は、レポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	東京書籍 新編 情報 I

スクーリング計画	
第1回	情報とメディアの特性・問題解決の流れ・発想法 ※教科書 p6~p38
第2回	情報モラル・個人情報の流出・著作権・ネットコミュニケーションの特徴 ※教科書 p6~p38
第3回	デジタルの世界へ・数値と文字のデジタル表現・音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現・目的に応じたデジタル化 ※教科書 p38~p60
第4回	情報デザイン・ユニバーサルデザイン・情報デザインの流れ コンピュータとは何か・ソフトウェアの仕組み ※教科書 p62~p65
第5回	演算の仕組みとコンピュータの限界・アルゴリズムの表現 ※教科書 p66~p69
第6回	ネットワークとインターネット・インターネットの仕組み サーバとクライアント・インターネットのサービス・情報セキュリティ※教科書 p90~p99
第7回	データ形式・データベースの活用・データ分析の流れ ※教科書 p100~p149
第8回	テスト対策

レポート計画	
第1回	教科書 6 ページから教科書 42 ページ
第2回	教科書 48 ページから教科書 78 ページ
第3回	教科書 90 ページから教科書 121 ページ
第4回	教科書 126 ページから教科書 189 ページ

宗教（初めて知るキリスト教）

1. 講座名	初めて知るキリスト教
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング*	総回数：4 必要出席回数：3 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：3 必要合格回数：3
6. 目標	<p>[知識・技能] 聖書の言葉が日常生活の中に深く関わっていることを知る。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 「一人一人が既に愛されている」こと、「神様に似せた存在として作られた」ことに気づき、自己肯定感を持って今後の人生を歩んでいくことができるよう、聖書のメッセージから学びと気づきを持つことができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] 本校の教育目標である「命の尊厳」を生徒が自分ごととして実感する。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の高校生にとって日々生活していくうえで知っておいてほしい聖書のメッセージを、主に新約聖書の箇所を通して学び、自分の考えをまとめる。 ・キリスト教が日常生活と深く関係していることを体感してもらうため、授業内で音楽などのキリスト教文化を紹介する。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 ・レポート(30%)とテスト(70%) 語彙や文型の問題</p> <p>②思考・判断・表現 ・レポート(70%)とテスト(30%) 読解、作文、会話の問題</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分(34%)とスクーリング出席とレポート合格(66%)</p>
9. 教材	配布プリント

スクーリング計画

スクーリング回数	授業内容
第 1 回	キリスト教における、神の人に対する関わり方 聖書箇所:ルカによる福音書 15 章 11~24 節
第 2 回	キリスト教における命の考え方 聖書箇所:マタイによる福音書 20 章 1~16 節
第 3 回	キリスト教における幸せの考え方 聖書箇所:ルカによる福音書 18 章 18~23 節
第 4 回	讃美歌を通してキリスト教の教えに触れる

宗教（聖書に親しむ）

1. 講座名	聖書に親しむ
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数：4 必要出席回数：3 スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：3 必要合格回数：3
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <p>・「目からうろこ」、「豚に真珠」、「狭き門から入れ」等々、これらはみな聖書由来の言葉である。このようにキリスト教の影響はすでに私たちのごく身近にある。特に SNS や海外旅行で気軽に異文化に触れる機会が増えた昨今、聖書やキリスト教、教会に関する知識や経験は、様々な文化的背景をもつ人々への共感を養うだけでなく、視野を広げ、人生を豊かにしてくれる一助となることができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>・はじめて触れる聖書の言葉に深くとどまってみて、そこから、思考を広げ、自らの経験と対話しつつ、文章（レポート）を作成することにより、自分なりのユニークな表現を養うことができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <p>・この授業では、書物等で得られる関連知識よりも、まず、君たち自身が聖書の言葉と直接対話を行う。そのように聖書と向き合うことにより、今まで気づかなかった新しい「自分」と出会うことも少なくない。その経験を通して、人間性を深め、広く人々と主体的にかかわる際の自信をつけることができる。</p>
7. 活動内容	<p>・聖書は世界のベストセラーと言われるが、そこにはどのようなことが書かれているかを読み解く。</p> <p>・実際、聖書を手にとって読むことで、予想とはまったく違うその内容に驚きおと気づきを得る。「意外と身近に感じた」「自分のことが書かれていると感じた」「これからも少しずつ読んでいきたい」などなど。</p> <p>・自分の経験や問題に引き寄せて読むことで、聖書は驚くほど具体的に丁寧に私たち一人ひとりに寄り添い語りかけてくれることに気づく。</p> <p>・以上のことから、授業名の通り、聖書に親しんでいく。</p>
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr/> <p>観点別評価</p> <p>・評価のポイント：自分で考え、自分の言葉で簡潔に答える。聖書を引用する場合はポイントを絞り短く、自分の経験に基づいて考察する。読みやすく丁寧な字で書く。</p> <p>①知識・技能</p> <p>・レポートとテスト</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・レポートとテスト</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・レポート提出時期とスクーリング出席回数</p>
9. 教材	新共同訳 小型新約聖書

スクーリング計画

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1回	「思い悩んでいませんか？」	①
第2回	「なぜこのような苦しみか？」	②
第3回	「本当に捜しに行きますか？」	③
第4回	「聖書に親しもう」	

産業社会と人間 A

1. 講座名	産業社会と人間 A
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	1 単位
4. スクーリング	総回数：2 必要出席回数：2 スクーリング代替課題：0
5. レポート	総回数：2 必要合格回数：2
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒各自が自分の生きている社会で起こっている出来事や現象について関心を持ち、そこにある課題や問題を発見する視点を育むことができる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を調べたり、思考したり、周囲と話し合ったりすることを通して、自分の考えや判断する力、表現する力を伸ばすことができる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の課題や問題に対して主体的に解答や解決策を形成していこうとする力を伸ばすことができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 自然科学、自然災害・防災、大阪の古代から現代までの歴史など多様な分野において、生徒が探究したい「テーマ」や「問い」を設定しレポートに記述する。 書籍やインターネットの文献を読んだり、関連する博物館や施設を訪れたりするなどして調査を行う。 調査の結果や、そこから自分が考えたことをレポートにまとめる。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート(70%)とテスト(30%) <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート(30%)とテスト(70%) <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの自主的項目の取り組み(50%)とスクーリング出席(50%)
9. 教材	生徒各自が自主的に集めた文献や資料

スクーリング計画		レポート	
回	学 習 内 容	回	課 題 内 容
①	探究するテーマや問いの設定の仕方、調査方法、調査結果の記述方法について	①	各自の探究テーマや問いを設定し記述する
②	文献や博物館等の施設を利用した調査を行う	③	調査方法や調査結果、そこから自分が考えたこと等について記述する

総合的な探究の時間 ～性(生命)大切な心と体を守るために～

1. 講座名	総合的な探究の時間 一性(生命)大切な心と体を守るために
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	1 単位
4. スクーリング	総回数: 2 必要出席回数: 2 スクーリング代替課題: 0
5. レポート	総回数: 2 必要合格回数: 2
6. 目標	<p>[知識・技能] 心と体の距離感や心地よいコミュニケーションとは何か、性暴力の形態、性暴力に合った時の対処法などについて理解することができる。</p> <p>[思考力・判断力・表現力] 性に向き合うということは、自分自身だけでなく相手の心と体も守るという視点から、「人との距離感」や「お互いにこちよコミュニケーション」とは何かについて共に考え自分のことばで表現することができる。</p> <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等] デートDVやSNSにひそむ性暴力について学ぶことで、性暴力の加害者にも被害者にもならないことができる。</p>
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人との距離感やデートDVの種類について講義や動画を通して学ぶ。 ・グループでデートDV等のケーススタディを行う。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能 ・レポート(100%)</p> <p>②思考・判断・表現 ・レポート(100%)</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席(100%)</p>
9. 教材	文部科学省が推進する教材 「生命の安全教育」

スクーリング計画		レポート	
回	学 習 内 容	回	課 題 内 容
①	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係とは ・性暴力とは何か 	①	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係とは ・性暴力とは何か
②	<ul style="list-style-type: none"> ・もし性暴力の被害にあったら 	③	<ul style="list-style-type: none"> ・もし性暴力の被害にあったら

総合的な探究の時間～美学美術史～

1. 講座名	総合的な探究の時間 ～美学美術史～
2. 分類	共通教科・科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 4 スクーリング代替課題： 4
5. レポート	総回数： 4 必要合格回数： 4
6. 目標	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類が創出してきた種々の文化のなかでの美術分野について、概要を掴むことができる。 ・西洋美術史及び日本美術史の中で、大きなエポックメイキングとなった画家を取り上げ、その業績についての基本的な知識を学ぶことができる。 ・概要を文章でまとめる力をつけたり、図版(画像)を文章に置き換えて表現できる。 <p>[思考力・判断力・表現力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が新たなものを創造していくことの意義と可能性を学ぶことで、生徒が自分の生き方に結びつけて考えることができる。 ・自分の思考したもので、小さな判断を自らが下し、言葉として表現できる。 <p>[主体性・学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 併せて、「鑑賞教育」として、「気づきの力」を培うことができる。 ・人類が創出してきた種々の文化のなか、特に美術分野について、学ぶうことで、多文化(他者)の理解を深めることができる。
7. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に表示された画像を鑑賞し、画像分析を行う。 ・授業中にレポートを用いて、文章で表現をする。 ・テストを通して、新たな視点を持ち、新たな自分なりの表現スタイルを見つける。
8. 評価方法	<p>5段階評定</p> <p>-----</p> <p>観点別評価</p> <p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(100%)で、その知識の定着、または調査・分析力を評価する。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(100%)で、その思考力と表現力を評価する。 <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(50%)とスクーリング出席回数(50%)で、主体性を評価する
9. 教材	教科書(文教出版 高校生の美術)

	前期スクーリング計画	レポート
	＜西洋美術史編＞	
第1回	自画像俯瞰	①
第2回	ミケランジェロ・ブオナローティ	
第3回	レンブラント・ファン・レイン	②
第4回	クロード・モネ	
第5回	オーギュスト・ロダン	③
第6回	パブロ・ピカソ	
第7回	ジャスパー・ジョーンズ	④
第8回	現代美術	

	後期スクーリング計画	
	＜日本美術史編＞	
第1回	自画像俯瞰 棟方志功	①
第2回	法隆寺伽藍	
第3回	伴大納言絵詞	②
第4回	長谷川等伯	
第5回	本阿弥光悦	③
第6回	東洲斎写楽	
第7回	有本利夫	④
第8回	現代美術	